

かやぶん博物館研修旅行
静岡編

研修旅行に参加して

昨年12月16日、かやぶん博物館研修旅行—静岡編—に家族で参加しました。行先は静岡市立登呂遺跡博物館、静岡県立埋蔵文化財センターでした。

道中、バスの中では功力調査員の愉快でわかりやすい解説付きで、60代の母も10代の息子も興味



深く聞くことができました。登呂遺跡博物館の見学ではボランティア解説員による解説を聞きました。息子の質問にも一つ一つ丁寧に答えていただき、弥生体験展示室では田げたを履いたり、石包丁での稲刈りもでき、息子は大満足でした。館外では火おこし体験や土器を使って炊いた古代米の試食など、楽しめる内容でした。

静岡県立埋蔵文化財センターでは、元高等学校を埋文センターとして利用していて、作業スペースが十分に確保されました。金属製品や木製品の保存処理も行われていました。

今回の参加は子供が息子一人でしたので、不安もありましたが、皆さんに優しくしていただき、とても楽しい研修旅行になりました。長年、登呂遺跡博物館に行きたがっていた母の夢も叶い、充実した一日でした。息子は次回も参加したいと言っていますので、楽しみにしています。



清水佑季子

ところで、博物館研修旅行って？

3年前に新潟県へ国宝の火焰型土器(通称ナンバーワン)を見学に行ったのを皮切りに今年度で3回目となった博物館研修ですが、ここで改めて目的や趣旨をご紹介します。

その1 目的・趣旨

当NPO法人の会員が北杜市域の文化財への理解を深めつつ、会員相互の親睦を図るため、また新規会員の獲得に繋がるよう研修会を行っています。

明野町内にある梅之木遺跡の史跡整備を視野に入れながら、隣接する都道府県の国指定史跡の活用状況や、指定管理制度に基づく運営を行っている施設等を見学することで、国指定史跡をもつ自治体の史跡活用構想について学ぶ機会を得ることを目的としています。

その2 今回の研修先について

前号では長野県方面を訪ねる予定になっていましたが、諸事情により静岡県へ変更いたしました。

静岡市立登呂遺跡博物館

国特別史跡で旧日本三大遺跡のひとつです。体験型博物館で館内の弥生体験展示室ではライティングと壁に描かれた復元絵画で一日と四季を表現していて弥生時代の生活体験ができます。また、ボランティアの活動が盛んで、本格的な体験学習の指導と遺跡案内を行っています。



静岡県立埋蔵文化財センター

昨年度、元高等学校を改装してリニューアルオープンした施設。通史展示室のほか、体験学習室、保存処理施設が併設されていて、整理作業の見学も可能。晴れていれば展望デッキから富士山と愛鷹山を一望できます。



八代家住宅でむかし体験

～わら細工に挑戦～ 棧俵を作ろう

八代家住宅でむかし体験で、今年はわら細工に挑戦しようということになり、去る平成29年11月25日（土）に棧俵作りをしました。

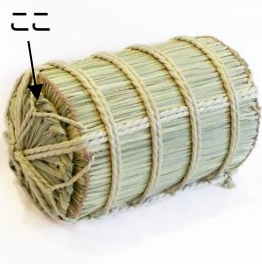
棧俵（さんだわら）とは俵のふたの部分のことです。今回は時間の関係で俵の胴の部分までは作ることができないので、棧俵の部分だけを作って

座布団や鍋敷きなどに活用してもらおうと企画しました。

まず、わらすぐりをして1個分のわらを束ねます。次にわらたたきで柔らかくして円く



広げて編んでいきます。両足で押さえながら一周するまで編み進めます。初めてで円く作るのは難しいようですが、皆さん楽しんで作っていました。中には家で練習するという方もいました。最後に明野きんときのふかし芋を食べながら歓談し、少し昔の暮らしについて話に花を咲かせていました。



周するまで編み進めます。初めてで円く作るのは難しいようですが、皆さん楽しんで作っていました。中には家で練習するという方もいました。最後に明野きんときのふかし芋を食べながら歓談し、少し昔の暮らしについて話に花を咲かせていました。

第8回伝統芸能研修会開催

去る平成29年10月30日（日）に、明野町民俗芸能保存会による、第8回伝統芸能研修会「明野のお神楽」が開催されました。今年も当法人は事務局としてお手伝いをしました。

明野町内にある7つの団体が一堂に会して舞を披露したほか、今回は高根町の熱那神社神楽団に出演の依頼をし、かつて明野の青年団が教えを請うた元の神楽団との共演を果たすことができました。



フットパスぶら～りおびけ～第2弾

昨年の10月に開催の予定だったフットパス第2弾「小尾街道で歴史散策」ですが、折しも台風の為、延期することになったにもかかわらず、皆さん楽しみに待っていて下さり、ありがとうございました。3月24日（土）、今度こそ天候に恵まれ、待望の開催となりました。



秋に申し込んでいただいていた方を優先的に受け付けましたが、参加者が総勢60名にのぼり、嬉しい悲鳴となりました。進行に遅れがでることもなく、怪我人等もなく、無事に終わることができました。

昼食の会場として場所を提供していただいた福性院のご住職、そして準備から解説までご協力いただいた郷土研究部の皆さんにお礼を申し上げます。



＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動してくださる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ！

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金 1,000円

年会費 2,000円

かやぶんかわら版 第83号

平成30年4月10日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
(かやぶん)

TEL/FAX 0551-45-7672

ウェブサイト <http://kayabun.web.fc2.com/>

e-mail kayabun@hotmail.co.jp